

4週間に1回

ジョイクル[®]関節注30mgを 使用されている方へ

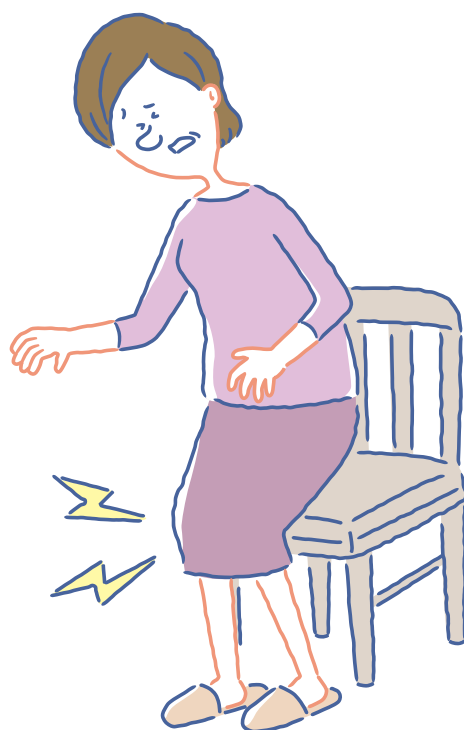
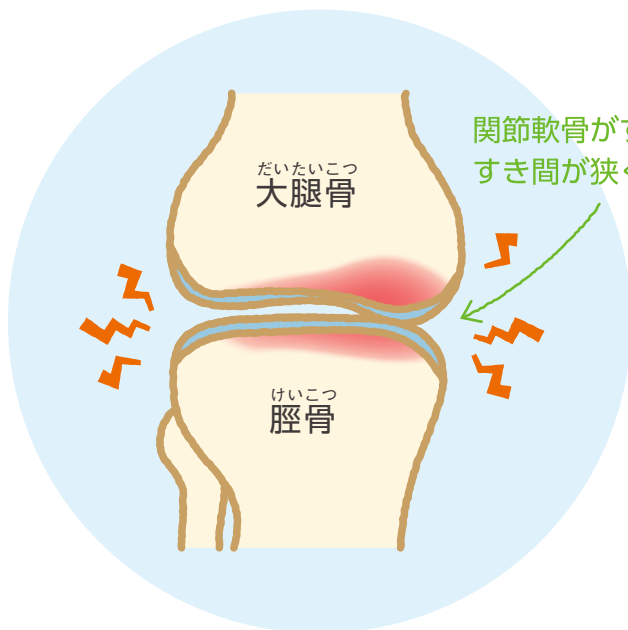
監修：順天堂大学大学院医学研究科 整形外科・運動器医学
主任教授 石島 旨章 先生



変形性関節症とは？

変形性関節症は
関節の軟骨がすり減り、
関節の変形や痛みが起こる病気です。

変形性ひざ関節症

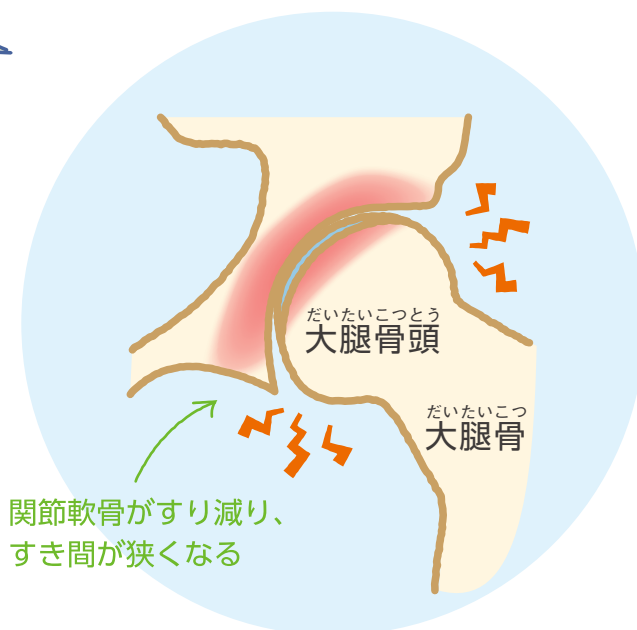


関節のクッションである軟骨が少しずつすり減って、炎症や痛みで関節がスムーズに動かなくなる状態を変形性関節症といいます。

加齢のほか、肥満や病気なども変形性関節症を引き起こす要因です。どれも女性に多い疾患です。



変形性股関節症



症状の程度にあわせて 異なる治療法を組みあわせて 治療します。

治療にはどんな方法があるの？

保存療法

薬物療法

塗り薬や貼り薬、飲み薬などで痛みや炎症をやわらげます。

関節内注射

関節機能改善剤やステロイドを関節に直接注入し、痛みをやわらげます。

運動療法

ストレッチや筋力トレーニングで関節周りを柔らかくして可動域を広げ、筋肉をつけます。

装具・物理療法

杖や足底板そくていばんなどを利用して関節を保護したり、温熱を利用して血流を改善します。

手術療法

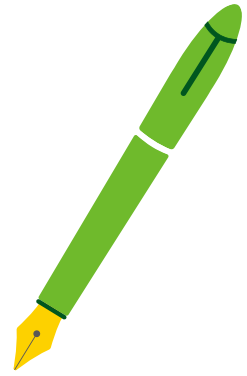
保存療法を行っても痛みが強く、日常生活が困難な場合に検討します。骨の一部を切って形を矯正したり、傷んだ関節を人工関節に置き換えたりする手術法があります。

治療目標を設定しましょう

痛みのために日常生活で困っていること、
諦めてしまっていることの中で、
改善したい内容を記載してみましょう。

例) 犬の散歩に行けるようになりたい。

電車に乗って温泉旅行に行けるようになりたい。



主治医と相談して、
これをやりたいという
治療の目標を立てて
いきましょう。



ジョイクル®関節注30mgとは？

ジョイクル®関節注30mgは ジクロフェナクとヒアルロン酸を 化学結合させた関節内注射剤です。

ジクロフェナクとヒアルロン酸

ジクロフェナクは炎症をしずめたり痛みをとったりするお薬です。

ヒアルロン酸は関節内に含まれる成分で、関節の動きをスムーズにする潤滑油じゅんかつゆのような働きをしています。

日本では20年以上前からヒアルロン酸注射が行われています。





どのような症状に効果があるのでしょうか

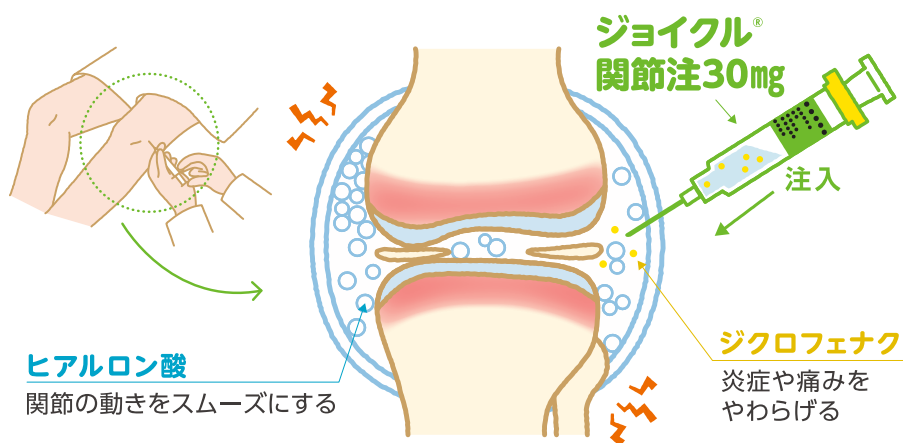
炎症や痛みがやわらぎ、関節の動きがスムーズになります。
ひざ関節、股関節の変形性関節症に効果が認められています。



ジョイクル®関節注30mgは 4週間に1回の投与間隔で 注射します。

投与頻度が少ないため、
患者さんの負担が軽減される製剤です。

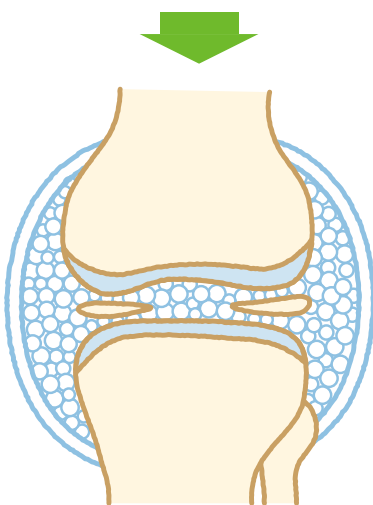
ひざ関節にジョイクル®関節注30mgを注射



痛みを軽減

炎症が抑えられる

動きが滑らかに



ジョイクルの投与で みられる可能性がある副作用

重篤な過敏症 (ショック、アナフィラキシー)

まれに、全身のじんま疹や、呼吸困難、
血圧低下などの重篤な過敏症が
起こる場合があります。
このような症状が現れたら、
直ちに医療機関へ連絡してください。



注射部位関節痛

注射した部位の関節が
痛くなる場合があります。

通院メモ

通院日 ×モ

 . .

通院日 ×モ

 . .

通院日 ×モ

 . .

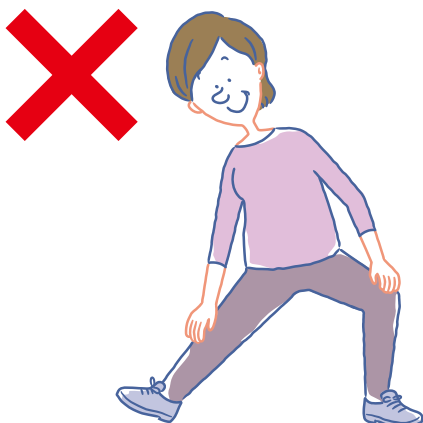
注射後に気をつけていただきたいこと



注射当日は安静にして、
注射した部位に
負担をかけない。

注射当日は
注射した部分を清潔に保ち、
入浴やシャワーはひかえる*。

※糖尿病などの合併症がある患者さんでは
感染リスクが高まる恐れがあります。



痛みが軽くなっても
急激に運動量を
増やさない。

関節にやさしい生活を

定期的に通院し、
治療を継続することが
大切です。



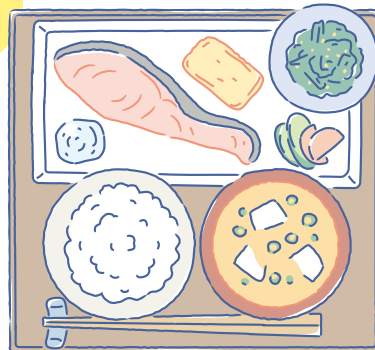
ウォーキングやストレッチなどの
運動療法を行い、
関節の動きや安定性を
高めていきましょう。

バランスの良い
食事を取りましょう。

主菜

主食

副菜



医療機関名